

EDI仕様・システム全般編

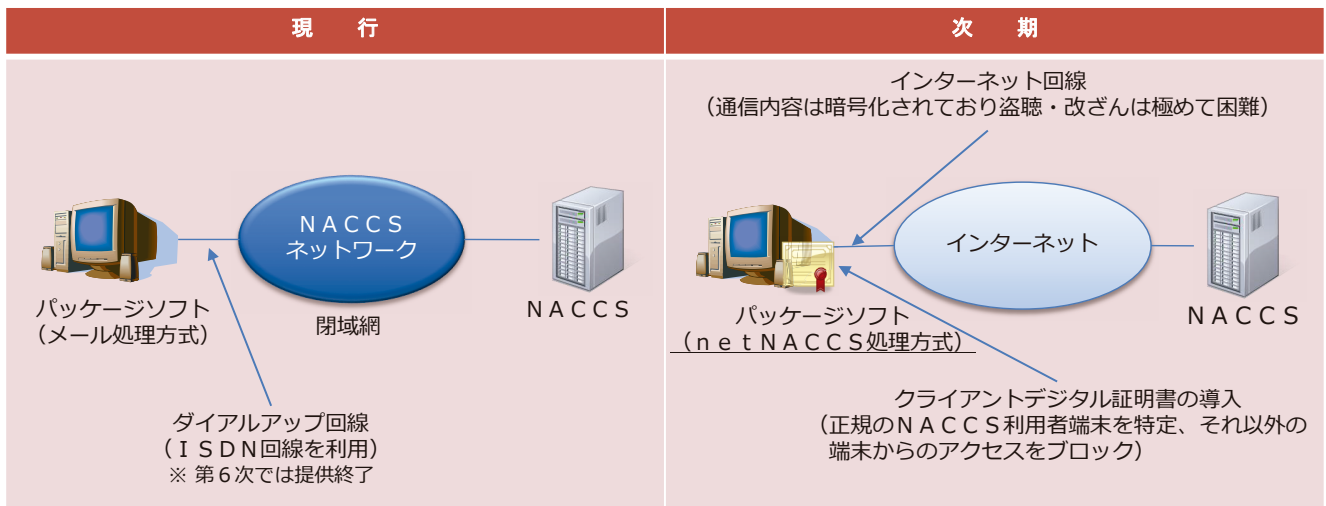
VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第16回	WG	基本 Ⅲ-1	パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了（1）
-----	----------	--------------	----	-----------	-----------------------------

・第6次NACCSにおいては、ゲートウェイ配下での利用の場合を除き、パッケージソフト（メール処理方式）の提供を終了する。

詳細仕様検討結果

1. パッケージソフト（メール処理方式）については、ゲートウェイ配下での利用の場合を除き（注）、提供を終了する。
（注）ゲートウェイ配下での利用者に対しては、従来通り、パッケージソフト（メール処理方式）の提供を継続。
2. 現在、パッケージソフト（メール処理方式）を利用している利用者様には、netNACCS処理方式への切替えをお願いする。
（注）netNACCSは、インターネット使用となるがデジタル証明書の導入や通信の暗号化といった適切なセキュリティ対策を施しておりセキュリティを低下することなく、昨今ではコストメリットも得られる。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第16回	WG	基本 Ⅲ-1	パッケージソフト（メール処理方式）の原則提供終了（2）
-----	----------	--------------	----	-----------	-----------------------------

詳細仕様検討結果

パッケージソフト（メール処理方式）の提供終了に際して検討を要する課題に対する対応方法は、それぞれ以下のとおり。

WG委員から提起のあった課題	対応方法
「通関士証券番号登録（UTB）」業務が自社システムに入っておらず、メール処理方式の端末により行っており、パッケージソフト（メール処理方式）の提供が終了すると、通関士証券番号の変更等ができない。	現行UTB業務は、通関士本人の利用者ID（8桁）により当該利用者IDで利用可能な処理方式からでなければ、通関士証券番号の登録、修正、削除が行えない。このため、第6次NACCSにおいては、利用者IDの先頭5桁（利用者コード）が同一であれば本人以外の通関士の利用者ID及び処理方式からでも、UTB業務を実施できるように次期では業務仕様を改善する。
自社システムの障害時対策のためパッケージソフト（メール処理方式）を導入しているが、弊社の場合、netNACCSに切り替えると、全て社内LAN経由の接続となる為、社内LANに不具合が発生した場合netNACCSも使用ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 社内LANを経由しない形でNACCSネットワークの専用線又はブロードバンド回線を導入し、NACCSパッケージソフト（インタラクティブ処理方式）を組み合わせる。 ゲートウェイ処理方式やSMTP双方向処理方式を利用している場合は、既に専用線が利用可能であるため、NACCSパッケージソフト（インタラクティブ処理方式）を導入する。
現行のメール処理方式で受信している電文についてnetNACCS経由の場合、受信が端末固定になると、都度、出力要請が必要となるのではないかと、また他の端末から出力要請をする場合、現行の方法だと、論理端末名及び端末アクセスキーを都度設定が必要となる事から負荷が大きい。また、社内LANが使用できない場合、電文の出力ができない。	<p>以下の設定を行うことにより、従来のパッケージソフト（メール処理方式）と同様の処理をnetNACCSでも可能となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 宛先管理設定により、取得したい出力情報(帳票電文)をnetNACCSを利用する論理端末名宛に出力するよう設定する。 netNACCSの自動タイマによる帳票取出機能により定期的に自動で帳票電文を取り出すように設定する。 ②の設定により、定期的に自動で帳票電文がnetNACCS端末に出力される。これにより、メール処理方式の動きと同様となるため、当該電文の受信を契機に業務を実施することが可能となる。
メール処理方式の電文受信を契機として業務が動く場合がある為、都度出力要請では対応できない。	<p>なお、他の端末から帳票電文を取り出す場合は、論理端末名及び端末アクセスキーによる取出しを行う。他の端末からの取出しが長期に及ぶ場合はU業務を使用して、出力先の論理端末名を変更する。</p>



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第16回 第17回	WG	基本 Ⅲ	ダイヤルアップ回線の廃止
-----	----------	--------------	----	---------	--------------

・第6次NACCSネットワークにおいては、ダイヤルアップ回線の提供を終了する。

詳細仕様検討結果

・第6次NACCSネットワークにおいては、下表の回線の提供を予定しており、ダイヤルアップ回線については、提供を終了する。

・現在、ダイヤルアップ回線を使用している利用者様については、基本的には、**netNACCS処理方式への切替**(※)をお願いしたい。

◎ 第6次NACCSにおいて提供予定の回線

回線種別	帯域
専用線	64kbps
	128kbps
	1Mbps
	3Mbps
	5Mbps
ブロードバンド回線 (ADSL)	上り5Mbps, 下り47Mbps (ベストエフォート)
ブロードバンド回線 (光)	100Mbps (ベストエフォート)

(注) 上表に示す各回線の利用料金は、現在検討中。

(※) netNACCS 処理方式への切替にあたって

- 利用者様においてインターネット回線の設置に係る手間が発生するものの、それを上回る運用コスト上のメリットがあると考えられる。
- netNACCS処理方式への切替により、インターネットを使用することになるが、netNACCS処理方式ではクライアントデジタル証明書の導入や通信の暗号化といった適切なセキュリティ対策が施されており、セキュリティが低下することはない。

【ダイヤルアップ回線の廃止理由】

- ダイヤルアップ回線は、NTTのISDN回線を使用しているが、NTTよりISDN回線は2020年頃より順次廃止することが発表されており、将来的にNACCSネットワークにおいてダイヤルアップ回線は提供できなくなる。
- 現在では常時接続型の高速回線が安価に利用できるため、NACCSセンターが独自にダイヤルアップ回線を提供する必然性は薄れている。
- 第6次NACCSでは最大業務電文長の拡大や添付ファイルサイズの拡大を検討しており、ダイヤルアップ回線はNACCSを利用する回線として必ずしも適当ではなくなっていると考えられる。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第22回 WG	基本 Ⅲ	(参考) 第6次NACCSネットワーク(1)
-----	----------	------------	---------	------------------------

・第6次NACCSネットワークにおいては、回線の航空/海上区分を廃止し、新たにオプションメニューを追加する。

詳細仕様検討結果

(1) 第6次NACCS提供回線メニュー

第6次NACCSネットワークにおいては以下の回線の提供を予定しており、また、回線の航空/海上区分を廃止することに伴い、新たにオプションメニューを追加する予定としている。なお、各回線の利用料金は、現時点の予定価格を提示する。(P183)

回線メニュー	帯域	備考
専用線	64kbps	
	128kbps	
	1Mbps	
	3Mbps	
	5Mbps	
	10Mbps	
ブロードバンド回線	A D S L	上り5Mbps,下り47Mbps (ベストエフォート)
	光	100Mbps (ベストエフォート)

※ブロードバンド回線(光)が敷設できない場合のみ提供。
※現行利用の場合は、継続して利用可能。

(2) 第6次NACCS提供オプションメニュー

オプションメニュー	内容
24時間365日保守	保守対応を24時間365日実施。
予備機	通信機器(ルーター)の予備機を利用者側に設置する。 ※冗長化を選択する場合、予備機設置は行わない。
冗長化	B B光回線及び通信機器を専用線のバックアップ回線として構成する。
Ping監視	通信機器に対して定期的にpingコマンドを発行し、通信機器及び回線の死活監視を行う。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第22回 WG	基本 Ⅲ	(参考) 第6次NACCSネットワーク(2)
-----	----------	------------	---------	------------------------

詳細仕様検討結果

回線種別毎に選択可能なオプションを下表に「○」で示す。

(1) 平日日勤帯保守(保守対応は9時~18時を予定)

回線メニュー	帯域等	オプションメニュー		
		予備機設置	冗長化	Ping監視
専用線	64kbps	×	×	×
	128kbps	×	×	×
	1Mbps	×	×	×
	3Mbps	×	×	×
	5Mbps	×	×	×
	10Mbps	×	×	×
ブロードバンド回線	A D S L	×	×	×
	光	×	×	×

(2) 24時間 365日保守

回線メニュー	帯域等	オプションメニュー		
		予備機設置	冗長化	Ping監視
専用線	64kbps	○	×	○
	128kbps	○	×	○
	1Mbps	○(※)	○	○
	3Mbps	○(※)	○	○
	5Mbps	○(※)	○	○
	10Mbps	○(※)	○	○
ブロードバンド回線	A D S L	○	×	×
	光	○	×	×

※冗長化を選択する場合、予備機設置は行わない。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第17回	WG	基本 Ⅲ-1	オンライン処理方式の見直し EDIFACT電文及びXML電文
-----	----------	--------------	----	-----------	-----------------------------------

- ・ 現行の接続方式のうち、ダイレクト・インターフェース（D/I）方式は、廃止する。
- ・ NACCS業務におけるe b M S処理方式の対応業務の見直しを実施する。
- ・ EDIFACT電文及びXML電文で利用可能な業務については限定する。

詳細仕様検討結果

- ・ 第6次NACCSにおけるオンライン処理方式は次のとおりとする。

処理方式	ネットワーク	利用プロトコル	電文形式	パッケージソフト	
インタラクティブ 処理方式	会話型 SMTP双方向	NACCS ネットワーク	HTTP	NACCS-EDI電文	○
			SMTP	NACCS-EDI電文 XML電文	-
メール処理方式	インターネット	SMTP/POP 3	NACCS-EDI電文	○	
			EDIFACT電文 XML電文	-	
e b M S処理方式	インターネット	HTTP(S)	NACCS-EDI電文	-	
XML電文			-		
netNACCS処理方式	インターネット	HTTP(S)	NACCS-EDI電文	○	
WebNACCS処理方式	インターネット	HTTP(S)	ブラウザ電文	-	

注1：EDIFACT電文及びXML電文で利用可能な業務については限定する。

注2：WebNACCS処理方式で利用可能な業務については限定する。

- ・ 第6次NACCSにおけるEDIFACTのメッセージバージョン等は、次のとおりとする。
 - (1) メッセージバージョン：D98B
 - (2) シンタックスルールのバージョン：Ver.3
 - (3) 文字セット：レベルA（UNOA）、「#」、「@」が使用可能
 - (4) 対象業務：WG資料参照
- ・ 第6次NACCSにおけるe b M Sのメッセージバージョン等は、次のとおりとする。
 - (1) メッセージバージョン：e b X M L M e s s a g e S e r v i c e v 2 . 0 及び e b X M L C P P A v 2 . 0
 - (2) 対象業務：WG資料参照



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第17回	WG	基本 Ⅲ-1	入力共通項目におけるシステム識別の設定値の変更（1）
-----	----------	--------------	----	-----------	----------------------------

- ・ 自社システム接続（SMTP双方向処理方式及びメール処理方式（ただし、EDIFACTを除く））から送信される入力共通項目の中のシステム識別欄について見直しを実施する。

詳細仕様検討結果

- ・ 第5次NACCSにおける自社システム接続（SMTP双方向処理方式及びメール処理方式（ただし、EDIFACTを除く））においては、右表のとおり入力共通項目の中のシステム識別欄に、実施する業務に応じた値を設定し、処理要求電文を送信している。
- ・ 第6次NACCSにおいては、一部の業務（次頁参照）において、システム識別欄に設定する値が変更となる。このため、自社システム接続において該当する業務を実施する場合は、システム識別欄に適切な値を設定し、処理要求電文を送信する必要がある。
- ・ EDIFACT利用者は、システム識別を設定していないため本件について対応する必要はない。

参考 入力共通項目

項番	項目名	桁
1	制御情報	3
2	業務コード	5
3	(予約エリア)	21
4	利用者コード	5
5	識別番号	3
6	利用者パスワード	8
7	(予約エリア)	174
8	電文引継情報	26
9	(予約エリア)	8
10	入力情報特定番号	10
11	索引引継情報	100
12	(予約エリア)	1
13	システム識別	1
14	(予約エリア)	27
15	電文長	6
16	合計	398

NACCS：(航空:1 海上:2)
 輸入食品監視支援業務:4
 植物検疫関連業務:5
 動物検疫関連業務:6
 貿易管理サブシステム:7
 港湾関連業務:8
 乗員上陸許可支援システム:9



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第17回	WG	基本 Ⅲ-1	入力共通項目におけるシステム識別の設定値の変更（2）
-----	----------	--------------	----	-----------	----------------------------

詳細仕様検討結果

- 以下の表中にある業務を第6次NACCSで実施する場合、「新システム識別」欄に示す値を使用する必要がある（自社システムにおいてシステム識別欄に新システム識別にて示した値を設定する）。
- なお、各業務において設定すべきシステム識別の値はEDI仕様書の付録にて提示する予定である。

参考 システム識別が変更となる業務の一覧

項番	業務名	業務コード		システム識別		項番	業務名	業務コード		システム識別	
		第5次	第6次	第5次	第6次			第5次	第6次	第5次	第6次
1	船舶基本情報登録	V B X	同左	2	8	14	入港前統一申請呼出し	—	V P X 1 1	—	8
2	船舶基本情報訂正	V B Y	同左	2	8	15	入港届等	V I X	同左	2	8
3	船舶基本情報訂正呼出し	V B Y 1 1	同左	2	8	16	入港届等呼出し	—	V I X 1 1	—	8
4	船舶運航情報登録	V T X 0 1	同左	2	8	17	移動届	V M R	同左	2	8
5	乗組員情報登録	V T X 0 2	同左	2	8	18	移動届呼出し	V M R 1 1	同左	2	8
6	旅客情報登録	V T X 0 3	同左	2	8	19	出港届等	V O X	同左	2	8
7	船用品情報登録	V T X 0 4	同左	2	8	20	出港届等呼出し	—	V O X 1 1	—	8
8	船舶運航情報登録呼出し	V T X 1 1	同左	2	8	21	入出港届等照会	I V S	同左	2	8
9	乗組員情報登録呼出し	V T X 1 2	同左	2	8	22	届出申請一覧呼出し	C R W 0 1	I V S へ統合	9	8
10	旅客情報登録呼出し	V T X 1 3	同左	2	8	23	届出申請情報照会	C R W 0 2	I V S へ統合	9	8
11	船用品情報登録呼出し	V T X 1 4	同左	2	8						
12	入港前統一申請	V P X	同左	2	8						
13	乗員上陸許可申請	C R W 0 3	V P X へ統合	9	8						



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第17回	WG	基本 Ⅱ-1	第6次NACCSにおけるバックアップ機能（1）
-----	----------	--------------	----	-----------	-------------------------

- 大規模災害や大規模障害への対応を強化するため、バックアップ機能を改善する。

詳細仕様検討結果

1. 切り替え時間等の短縮化

項目	改善内容
メインセンター～バックアップセンター間の切替え及び切戻し時間の短縮	メインセンターからバックアップセンターに切り替える時間（切替時間）、及びバックアップセンターからメインセンターに再度切り替える時間（切戻し時間）の短縮を図る。

作業内容	現行システム	次期システム
メインセンターからバックアップセンターへの切替時間	概ね1時間を要する。	切替作業方法の見直し等を行うことにより、切替時間の短縮を図る。
バックアップセンターからメインセンターへの切戻し時間	1日あたり概ね4時間の停止が2日間必要となるため、計8時間の停止が必要となる。	切戻し作業方法の見直し等を行うことにより、切戻し時間の短縮を図る。

2. 関係省庁手続のバックアップ機能の強化

項目	改善内容
関係省庁に係る手続に関するバックアップ機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 動物検疫関連手続、植物検疫関連手続及び輸入食品に関連する手続についてバックアップ機能の強化を図る。 港湾サブシステムについては、NACCSへの完全統合を図ることに伴いバックアップ機能を設け、大規模災害や大規模障害への対応を可能とする。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第17回	WG	基本 II-1	第6次NACCSにおけるバックアップ機能（2）
-----	----------	--------------	----	------------	-------------------------

詳細仕様検討結果

3. 切替方法の改善

第6次NACCSにおいては、利用者は処理形態に応じ以下の設定を行うのみで、利用者が切替作業を行うことなく、メインセンターからバックアップセンターへの切替を可能とするよう見直しを実施する（原則として、切替作業は全てセンター側の設備で行う。）。

処理形態		設定方法
パッケージソフト インタラクティブ処理方式 netNACCS処理方式		パッケージソフトのオプション設定画面における「接続先サーバ」を常に「本番環境」に設定。
自社 システム	SMT P 双方向処理方式	自社システムを、常に以下の手順でNACCSに接続。 ① センターは予め各フロントサーバのドメイン名とDNSサーバ等のIPアドレスを通知。 ② 自社システムは、DNSサーバ等に対して各フロントサーバのドメイン名を用いて、ドメイン名に対応するIPアドレスを問合せ（備考）。 ③ 自社システムは、DNSサーバ等から返されるIPアドレスに対して電文の送受信を実施。 （参考）メインセンターからバックアップセンターへの切替は、センター側でDNSサーバ内の各フロントサーバのIPアドレスを、メインセンターのIPアドレスからバックアップセンターのIPアドレスに切り替えることにより実施。
	SMT P / P O P 3 処理方式	
	e b M S 処理方式	e b M S におけるC P A 情報を常に「本番環境」のものを使用。 （注）メインセンターからバックアップセンターへの切替時においてもC P A 情報は変更しない。

備考. 上記切替の実現のため、自社システムでは、NACCSとの接続に先立ち、必ずDNSサーバ等に各フロントサーバのIPアドレスの問合せを行うように変更し、DNSサーバ等から返された各フロントサーバのIPアドレスに対して、電文の送受信を行うことになる。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第20回 WG	基本 II-1	第6次NACCSにおけるバックアップ機能（3） ：NACCSネットワーク内で使用するドメイン名の変更①
-----	----------	------------	------------	--

- ・ 利用者に意識させることなくメインセンターとバックアップセンターとの間で切替を実施するにあたり、NACCSネットワークにおいて使用しているドメイン名を、以下のとおり変更する。

詳細仕様検討結果

- ・ ご利用者様に意識をいただくことなくメインセンターとバックアップセンター間の切替を実施するため、NACCSネットワークにおいて使用しているドメイン名を以下のとおり変更する。
- ・ 第1レベルのドメイン名である「customs」を廃止するとともに、これまでの第2レベルのドメイン名「naccs」の末尾に、第6次NACCSを示す「6」を付与し、第5次NACCSと第6次NACCSのドメイン名を明確に分ける（表1）。
- ・ 第6次NACCSにおける第2レベルのドメイン名に「prod」（本番環境）と「test」（試験環境）の2種類を設定し（表2）、第5次NACCSで使用していた「main」（メインセンター）や「back」（バックアップセンター）といったドメイン名を廃止する。
- ・ 第6次NACCSにおいては原則として、メインセンター運用時（通常運用時）、バックアップセンター切替時（メインセンター被災時や障害時）のいずれによらず、常に「prod」ドメインにアクセスすることとする。また、接続試験等、試験を行う場合に限り、「test」ドメインにアクセスすることとする。

表1. NACCSネットワーク内におけるドメイン名の変更

	第5次NACCS	第6次NACCS
ドメイン名	naccs.customs	naccs6

表2. 第6次NACCSにおける各環境の第2レベルまでのドメイン名

	第6次NACCSのドメイン名
本番環境	prod.naccs6
試験環境	test.naccs6

※prod : production environment（本番環境）の略



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第20回 WG	基本 II-1	第6次NACCSにおけるバックアップ機能（3） ：NACCSネットワーク内で使用するドメイン名の変更②
-----	----------	------------	------------	--

詳細仕様検討結果

- 本番環境及び試験環境における各サーバのドメイン名は以下のとおりとなる。なお、表3、表4の各サーバのドメイン名は、現在の想定であり、今後の開発工程において変更があり得る。
- 表3で示すサーバのドメイン名は、メインセンター及びバックアップセンターで共通のドメイン名である。ご利用者様はメインセンター及びバックアップセンターを意識することなく、常にこの表に示すドメイン名にて第6次NACCSの各サーバにアクセスしていただくことになる。
- 接続試験等、試験を行う場合は表4に示すドメイン名にて第6次NACCSにアクセスしていただくことになる。

表3. 第6次NACCSにおける本番環境の各サーバのドメイン名（例）

サーバ名	第6次NACCSのドメイン名
メールサーバ	mail.prod.nacccs6
SMT P 双方向サーバ	smtp.prod.nacccs6

表4. 第6次NACCSにおける試験環境の各サーバのドメイン名（例）

サーバ名	第6次NACCSのドメイン名
メールサーバ	mail.test.nacccs6
SMT P 双方向サーバ	smtp.test.nacccs6



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第10回 WG	基本 III-8	WebNACCS対象業務の拡大：対象業務（1）
-----	----------	------------	-------------	-------------------------

- WebNACCS処理方式について、対象業務の拡大を図る。

詳細仕様検討結果

第6次NACCSにおけるWebNACCS追加対象業務（入出港関連業務）

海空	業務名	業務コード	海空	業務名	業務コード	海空	業務名	業務コード
海	船舶基本情報登録	V B X	海	入港届等B呼出し	V I T 1 1 ※	海	出港届等呼出し（内航船）	J O T 1 1 ※
	船舶基本情報訂正	V B Y		移動届	V M R		入港料減免・還付申請	K I T ※
	船舶基本情報訂正呼出し	V B Y 1 1		移動届呼出し	V M R 1 1		入港料減免・還付申請呼出し	K I T 1 1 ※
	船舶運航情報登録	V T X 0 1		出港届等	V O X		船舶運航動静通知	K M T ※
	乗組員情報登録	V T X 0 2		出港届等呼出し	V O X 1 1		船舶運航動静通知呼出し	K M T 1 1 ※
	旅客情報登録	V T X 0 3		出港届等B	V O T ※		海側施設使用許可申請	K S T ※
	船用品情報登録	V T X 0 4		出港届等B呼出し	V O T 1 1 ※		海側施設使用許可申請呼出し	K S T 1 1 ※
	船舶運航情報登録呼出し	V T X 1 1		入出港届等照会	I V S		陸側施設使用許可申請	K L T ※
	乗組員情報登録呼出し	V T X 1 2		船舶基本情報登録（内航船）	J B X ※		陸側施設使用許可申請呼出し	K L T 1 1 ※
	旅客情報登録呼出し	V T X 1 3		船舶基本情報訂正（内航船）	J B Y ※		ファイル申請	K F T
	船用品情報登録呼出し	V T X 1 4		船舶基本情報訂正呼出し（内航船）	J B Y 1 1 ※			
	入港前統一申請	V P X		入港前統一申請等（内航船）	J P T ※			
	入港前統一申請呼出し	V P X 1 1		入港前統一申請等呼出し（内航船）	J P T 1 1 ※			
	入港前統一申請B	V P T ※		入港届等（内航船）	J I T ※			
	入港前統一申請B呼出し	V P T 1 1 ※		入港届等呼出し（内航船）	J I T 1 1 ※			
	入港届等	V I X		移動届（内航船）	J M R ※			
	入港届等呼出し	V I X 1 1		移動届呼出し（内航船）	J M R 1 1 ※			
	入港届等B	V I T ※		出港届等（内航船）	J O T ※			

注：※の付与されている業務については、パッケージソフトでは提供しない。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI 航空海上 第10回WG 基本Ⅲ-8 WebNACCS対象業務の拡大：対象業務（2）

詳細仕様検討結果

第6次NACCSにおけるWebNACCS追加対象業務（その他）

海空	業務名	業務コード
海	貨物情報照会	ICG
	コンテナ情報照会	ICN
	積荷目録状況照会	IMI
	輸入申告等照会	IID
	輸出申告等照会	IEX
	輸入申告等一覧照会	IDI
	輸出申告等一覧照会	IES
	とん税等納付申告	TPC
	不開港出入許可申請	CPC
	船舶コード照会	IVK
	船舶管理情報照会	IVC
	不開港出入許可申請照会	IPP
	入出港日別一覧照会	IVD
	船舶・航空機資格変更届	KPC01
	船舶・航空機資格変更届呼出し	KPC
	船舶・航空機資格変更届照会	IKP

海空	業務名	業務コード
空	輸入貨物情報照会	I AW
	輸出貨物情報照会	I GS
	混載貨物仕立状況照会	I MA
	輸入申告等照会	I ID
	輸出申告等照会	I EX
	輸入申告等一覧照会	I DI
	輸出申告等一覧照会	I ES

海空	業務名	業務コード
海空	包括保険仮事項登録	H HA
海空	包括保険仮事項登録呼出し	H HB
海空	包括保険仮登録	H HC
海空	包括保険照会	I IN
海空	輸出入者情報照会	I IE



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI 航空海上 第21回WG 基本Ⅲ-8 WebNACCS対象業務の拡大：※ 画面イメージ ログイン画面

詳細仕様検討結果



問い合わせ先
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
ヘルプデスク
0120-794-550【受付時間】終日

- » [NACCS揭示板へ](#)
- » [利用規程](#)
- » [個人情報の取り扱い](#)

New 7月13日更新のお知らせがあります。



VI 主な詳細仕様検討結果 (EDI・システム全般)

EDI | 航空海上 | 第21回WG | 基本Ⅲ-8 | WebNACCS対象業務の拡大: ※ 画面イメージ 照会画面

詳細仕様検討結果



利用者ID | 1ANAC01A | ログイン時間 | 2017/10/01 08:30 | 残時間 | 01:00 | ログアウト

貨物情報照会(ICG0W)

貨物情報照会(TTL:全体情報) ?

照会条件		
貨物管理番号	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXE	指定情報 TTL:全体情報
次貨物管理番号	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXE	
次指定情報	TTL:全体情報	保税地域コード XXXXE

更新履歴			
項番	最新更新日時	最新更新業務	最新更新利用者
1	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
2	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
3	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
4	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
5	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
6	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
7	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
8	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
9	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE
10	YYYY/MM/DD - HH:MM:SS	XXXXE	XXXXE



VI 主な詳細仕様検討結果 (EDI・システム全般)

EDI | 航空海上 | 第21回WG | 基本Ⅲ-8 | WebNACCS対象業務の拡大: ※ 画面イメージ 入力画面 (海上入出港業務)

詳細仕様検討結果



利用者ID | 1ANACA01 | ログイン時間 | 2015/03/05 00:00 | 残時間 | 01:00 | ログアウト

入港前統一申請(WPT)

係留施設使用許可申請(内航) 新規登録 ?

宛先情報	
宛先*	<input type="text"/>

船舶情報	
船舶コード種別*	<input type="text"/> <input type="button" value="船舶呼出"/>
船舶名称(ノ)	<input type="text"/>
IMO番号	IMO <input type="text"/>
船舶種類コード*	<input type="text"/> <input type="button" value="一覧参照"/>
船舶国籍コード*	<input type="text"/> <input type="button" value="一覧参照"/>

Copyright © Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System, (NACCS) Inc.No reproduction or republication without written permission



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第19回 WG	基本 Ⅲ-8	WebNACCS対象業務の拡大：WebNACCSにおける利用者IDの見直し
-----	----------	------------	-----------	---------------------------------------

- WebNACCSを利用するための利用者IDについて、必要な見直しを行う。

詳細仕様検討結果

1. WebNACCSにおける利用者ID

WebNACCSを利用するための利用者IDについては、インターネット接続とその他の接続とを区別する必要があるため、netNACCS同様、利用者IDの識別番号3桁目を英字とする。

従って、現在、netNACCSを利用している利用者の場合は、特段の手続き等を行うことなく、既存の利用者IDによってWebNACCSを利用することが可能となる。

（netNACCSを利用していない利用者が、新たにWebNACCSを利用する場合は、新たな利用者IDの取得が必要となる。）

2. WebAPS（動植物検疫関連業務のWeb業務）における利用可能IDの見直し

WebNACCSの提供業務には、動植物検疫関連業務も含まれるが、現状では、インタラクティブ処理方式の利用者IDでWebAPSが利用可能となっている。

第6次NACCSにおいては、WebNACCSにおける利用者IDのチェックを行うことから、WebAPSにおいても同様のチェックを行うこととしている。このため、現行NACCSにおいて、インタラクティブ処理方式及びメール処理方式の利用者IDで、WebAPSを利用している利用者については、新たに利用者IDを取得することが必要となる。

参考 接続処理方式にかかる利用者IDの違いによるWebAPSの利用可否

接続処理方式	現行（第5次）NACCS	次期（第6次）NACCS
インタラクティブ	○	×
メール	○	＝
netNACCS	○	○

（備考） 現行では、接続処理方式を問わずにWebAPSの利用が可能となっているが、第6次NACCSでは接続処理方式による制限を新たに設ける。
例えば、WebAPSでのみ実施可能な動物検疫所に係る「検査場所指定申請」業務や、NACCSでも提供されている「輸入畜産物検査申請入庫状況登録（ISS01）」業務等をWebAPSで実施している利用者については、新たにnetNACCS処理方式の利用者IDを取得することが必要となる。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第12回 第17回 WG	基本 Ⅲ	WebNACCSにおける電文受信ソフトの廃止
-----	----------	-----------------	---------	------------------------

- WebNACCSの利便性向上を図るため、電文受信ソフトなしで帳票を取得できるようにするとともに、電文受信ソフトを廃止する。

詳細仕様検討結果

- 第6次NACCSにおいては、WebNACCSの対象業務の拡大等に伴い、WebNACCS利用者における利便性の向上を目的として、電文受信ソフトを廃止し、PDFファイルのダウンロード等により帳票を取得できるようにすることとしている。

- 一方、電文受信ソフトの廃止により、第6次NACCSにおいて、WebNACCSのみを利用する場合はEXC電文を受信できなくなる。

- しかしながら、第6次NACCSにおけるWebNACCS対象業務は限定的であり（主に照会業務や海上入出港に係る業務）、WebNACCSのみを利用する利用者自体も限定されること（基本的には他の処理方式を併用することが考えられる。）から、実質的には影響は無いと考えられる。

注：ただし、WebNACCSのみを利用している者に対してEXC電文が送信される可能性もあるため、WebNACCSのみを利用する者宛てEXC電文が送信される業務については、エラーとする等の対応を図ることとする。

- 具体例を示すと、内航船のみの入出港業務をWebNACCSで利用する場合は、EXC電文そのものが存在しないことから、何らの影響は生じないが、外航船と内航船の両方の入出港業務を行う場合は、外航船手続においてはEXC電文が存在するため、WebNACCS以外にパッケージソフト等の利用が必須となる。

参考：WebNACCSのみの利用で問題が生じないと考えられる業種（EXC電文が存在しない）

- ・ 船会社・船舶代理店（内航船業務のみを行う者に限る。）
- ・ 損害保険会社

上記業種以外の場合は、EXC電文の受信が想定されるため、WebNACCSと他の方式（パッケージソフト、自社システム）の併用が必須となる。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

端末	航空海上	第12回WG	基本Ⅲ-7	端末パッケージソフトの改善（1）：アップデート機能の改善
----	------	--------	-------	------------------------------

- ・ 現行のパッケージソフトについては、①ダウンロード作業に長時間を要する、②利用業種にかかわらずダウンロードする必要がある、といった問題が存在するため、新たな提供方法を導入する。

詳細仕様検討結果

1. アップデートにおける新たな提供方法

(1) 通常のバージョンアップ（随時）の改善

バージョンアップは、共通機能の更新及び実際に使用する業務の端末資材の更新が必要な場合のみを対象とする方式に変更する（必要なファイルのみダウンロードすることで、バージョンアップ時間の短縮化等が図られる。）
また、あらかじめ「自動更新」を選択（デフォルトは自動）することによって、利用者が業務画面を表示しようとする時や帳票を出力しようとする時に、自動でバージョンアップが行われる仕組みとする。

(2) 利用者による明示的な一括バージョンアップ（任意）

上記以外に利用者が任意のタイミングで、一括バージョンアップを行うことも可能とする。

(3) 年1回程度の最新バージョンのパッケージソフト配布

NACCS掲示板上に、年1回程度、最新版のバージョンとなっているパッケージソフトを掲載することによって、必要に応じて、利用者が最新版をインストールすることを可能とする。

2. パッケージソフトの種類の集約

現行のパッケージソフトは種類が多く管理・運用面で煩雑となっていることから、集約化を図る（19→2種類）。

3. プログラム変更要望に基づく改善（詳細はP.37以降を参照）

- 仕様変更後における、過去データの外部ファイルから再利用を可能とする。
- ゼロとオーの区別を容易にするため、ZSゴシック化を採用する。
- 電文保存期間のデフォルト日数を14日に変更する。等

4. netNACCS等におけるデジタル（クライアント）証明書の運用改善（詳細はP.39以降を参照）

- 証明書のインストール及び更新作業を簡略化する。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

端末	航空海上	第12回WG	基本Ⅳ-6-他	端末パッケージソフトの改善（2）：プログラム変更要望に基づく機能改善①
----	------	--------	---------	-------------------------------------

- ・ 現行NACCSに対するプログラム変更要望のうち、第6次NACCSで対応する必要があるものについては検討する。

詳細仕様検討結果

	内容	現行仕様	第6次NACCSにおける対応
1	パッケージソフトのアップデート方法の改善	① アップデート対象の端末テンプレートのダウンロード作業に時間を要する。 ② 他業種の利用者に関連する端末テンプレートである場合でも利用業種にかかわらずダウンロードする必要がある。	パッケージソフトのアップデートについては、【基本Ⅲ-7：端末パッケージソフトの改善(1)】のとおり改善する。 <前述(P.37)再掲>
2	外部ファイルに保存した過去データの再利用	仕様変更後に入力項目の変更等があると外部ファイルに保存していた過去データが使用できなくなる。	仕様変更後においても、過去データの外部ファイルから再利用を可能とする。
3	パッケージソフトの集約化	① パッケージソフトの種類が多過ぎて、どれをインストールしてよいか分からない。 ② テンプレートが無いため出力帳票の表示ができない。	インストール時に選択が容易となるよう、パッケージソフトを集約化する（集約により出力帳票の表示も可能となる。） <前述(P.37)再掲>
4	デジタル（クライアント）証明書の取得等	① 新規取得や更新の方法が煩雑である。 ② 新規取得や更新後にパッケージソフトへの設定を手動で行わなければならない。	デジタル（クライアント）証明書の更新手続等の簡素化について、証明書のインストール・更新ツールを導入する。 <後述(P.39)掲載>
5	メニュー構成の見直し	メニュー内の項目について、どのカテゴリの場所にあるのかが分かりにくい。	メニュー構成について、分かりやすさに配慮のうえ見直しを実施する。
6	ファイル添付時の操作性改善	添付ファイルを業務画面に貼付する際にパッケージソフト上で1ファイルづつ選択しなければならない。	ファイルのコピー&ペースト機能により複数ファイルをまとめての添付を可能とする。
7	ツールバーのカスタマイズ化	ツールバーについて、現状「標準」と「業務」でしか設定ができない。また、古い電文の一覧表示について、場所がわかりづらい。	ツールバーのカスタマイズ設定機能を新たに設ける。
8	表示文字の大きさ設定の可能化	パッケージソフトにおいて、表示文字を大きくするには表示 送受信電文一覧文字サイズで大・小・元の大きさしかない。	パッケージソフトの表示文字の大きさ設定を新たに設ける。 なお、表示の崩れが起きないようにフォントサイズの上限值・下限値を設ける仕様とする。
9	業務単位での確認画面設定の可能化	関係省庁に申告・申請する業務について、送信時に送信内容を事前に確認できる画面が無い。	誤送信防止のため、業務単位での確認画面設定機能を新たに設け、利用者が業務単位で任意に設定することを可能とする。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

端末	航空 海上	第12回 WG	基本 IV-6-他	端末パッケージソフトの改善（2）：プログラム変更要望に基づく機能改善②
----	----------	------------	--------------	-------------------------------------

詳細仕様検討結果

	内容	現行仕様	第6次NACCSにおける対応
10	添付ファイル拡張子の 大文字使用の 可能化	添付ファイルの拡張子に大文字を使用すると、 チェックでエラーとなる。	添付ファイルの拡張子に大文字小文字を問 わず、使用することを可能とする。
11	オプション画面にお ける自動印刷の 設定方法	自動保存の設定とは異なり、自動印刷 を行うものを個別に設定できない。	オプション画面において、自動印刷を行 うものを個別に設定可能とする。
12	オートコンプリートの 表示サイズの調整	オートコンプリートでリストを表示する 際の横幅が狭く、履歴の文字列が表 示しきれない場合がある。	オートコンプリートのリスト横幅を 拡大して、表示を可能とする。併 せて不要な履歴の削除を可能と する。
13	送受信中キャンセル 時の二重受信防 止対応	メール処理方式において、送受信 中にキャンセルすると二重に電文 が受信される場合がある。	電文の二重受信を防止できるよ うに改善する。
14	印刷方法設定の 可能化	出力情報の印刷について、例 えば、5枚ものを2部出力させ るとき、現行では、1/5、2/5、 3/5、4/5、5/5を1部として、 2部出力することができない。	印刷方法設定の中で部単位印刷/ ページ単位印刷のいずれかの選 択を可能とする（利用者様が 任意に設定可能。）。
15	Z Sゴシック化の 採用	利用者IDやメールボックスID 等がメイン画面及び送受信電文 一覧画面においてゼロとオー との区別ができない。	ゼロとオーの区別を容易にする ため、業務画面と同様のZ S ゴシック化を採用する。（ZS: ZeroSlash 0(㇀0)に斜線を入 れたもの）
16	アラーム音設定の 改善	パッケージソフトの設定でアラ ーム音を鳴らすようにしてい たのに、Windows7から鳴ら なくなってしまった。	現行のOS及びPCに依存する BEEP音の利用を廃止し、依 存しないWAVファイルによる アラーム音を採用する。
17	電文保存期間の デフォルト日 数	インストール時は1日がデ フォルト設定されており、翌 日には電文が消えてしま う。	電文保存期間のデフォルト日 数を14日に変更する。
18	自動バックアップ の設定	インストール時は自動バック アップ機能にチェックが入 っていないため、自動バック アップが機能しない。	バックアップ機能のデフォ ルトを「自動」に設定して 提供する。
19	自動バージョン アップの 設定	インストール時は自動バ ージョンアップ機能にチ ェックが入っていないた め、自動バージョンアップ が機能しない。	バージョンアップ機能の デフォルトを「自動」に 設定して提供する。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

端末	航空 海上	第12回 WG	基本 IV-6-他	端末パッケージソフトの改善（2）：プログラム変更要望に基づく機能改善③
----	----------	------------	--------------	-------------------------------------

詳細仕様検討結果

	内容	現行仕様	第6次NACCSにおける対応
20	印刷プレビュー サイズの設定	印刷プレビューのサイズの デフォルトが「100%」に 設定されていない。	印刷プレビューサイズの デフォルトを「100%」に 設定して提供する。利用 者が設定値を変更した 場合は、以後変更した 値で表示する。
21	プロキシサーバ 設定の改善	プロキシサーバ設定が 手動となっており、社 内でのインターネット 設定を変更すると プロキシサーバ設定 を手動で変更しな いとパッケージソフト が使えなくなる。	利用者がインターネット 環境を変更した際、 当該環境に合わせて プロキシサーバの 設定が自動で変更 等されるように する。
22	トレースログ の保存	トレースは最大1MB で2世代まで保存 されるが、業務量 によっては数十秒 しかトレースログ が残らない。	ログについては、日 付単位で14日間 保持するように 変更する。
23	ログオン機能 の改善	インタラクティブ 処理方式とnet NACCS処理方式 のパッケージソフト で、アカウント (利用者ID、 パスワード)を取 り違えてもログ オンができてしま う。	誤って入力した 場合は、ログオン 時点でエラーと なるように改善 する。
24	管理資料取 出し・再取 出しの操 作性改善	管理資料取 出し・再取 出し画面を 閉じないと 保存先フォル ダを開けな い。	管理資料取 出し・再取 出し画面を 開いた状態 で保存先 フォルダの 展開を可 能とする。
25	初期画面の 「検索区分」 の操作性 改善	デフォルトが 業務コード となっており、 パッケージ ソフトの起 動の度に デフォルト の業務コー ドに戻って しまう。	利用者が選 択した検索 区分を次 回利用時 にも維持 するよう に改善す る。
26	検索する 文字列長の 変更	検索枠が半 角29桁にな っているが、 B/L番号 35桁化に伴 い、表示 枠を拡大す る必要があ る。	検索する文 字列の最大 入力桁数に ついて、半 角で64桁 に変更す る。
27	業務エラー 内容の見 直し	エラー内容 や対処方法 がわかりに くく、内容 が実態と合 っていない ことが多い。	業務エラー の内容につ いては、分 かりやす さを配慮 のうえ、 必要な 見直しを 実施す る。
28	入力項目 ガイドの 内容の見 直し	入力項目 ガイドにあ る「入力 方法は (本文)7. 特記事項 を参照」 だけでは、 業務仕様 書にある ことがわ からない。	入力項目 ガイドの 内容につ いては、 分かり やすさを 配慮の うえ、 必要な 見直し を実施 する。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI 航空 第18回 基本 デジタル証明書の運用の簡素化（1）
海上 WG I-2

詳細仕様検討結果

第6次NACCSにおけるデジタル証明書の運用の改善について

- 第5次NACCSと同等のセキュリティを維持することを目的として、第6次NACCSにおいても、netNACCSやWebNACCS等の利用時においてデジタル証明書の利用を継続することとする。
- 一方、デジタル証明書のご利用における不便さを改善するため、以降に示す証明書のインストール・更新ツール（以下「証明書ツール」という。）を新たに導入する。
- 証明書ツールの導入により、ご利用者様においてデジタル証明書のインストールや更新を簡単に実施いただけるようにする。
- 証明書ツールの導入により、第5次NACCSにおいてご不便をおかけしているデジタル証明書の運用の改善を図る。
- 証明書ツールは、現時点での予定として総合運転試験までにご利用者様にご提供することを検討している。（今後の設計・開発の状況に応じて変更があり得る。）
- 証明書ツールとして以下の機能の実現を予定している。なお、これらの機能は現時点での予定であり、今後の設計工程において変更があり得る。

表2. 証明書ツールの主な機能（予定）

項番	機能名	機能概要
1	デジタル証明書のインストール機能	利用者様の端末（パソコン）にデジタル証明書を新規にインストールする。
2	デジタル証明書の更新機能	既にインストールされているデジタル証明書を有効期限内に更新する。
3	デジタル証明書の有効期限のチェック機能	利用者様の端末（パソコン）にインストールされているデジタル証明書の有効期限をチェックし、有効期限の終了が近づいていた場合、利用者様に通知する。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI 航空 第18回 基本 デジタル証明書の運用の簡素化（2）
海上 WG I-2

詳細仕様検討結果

以下に、証明書ツールにおけるデジタル証明書インストール時（新規発行時）の画面イメージを示す。なお、以降の画面は現時点の想定であり、今後の設計工程において変更があり得る。

【証明書のインストール（新規発行）】

① 認証コードの入力

証明書ツールを利用者様のパソコンにインストールし、証明書ツールを起動する。認証コード1、2の入力画面が表示されるので、2つの認証コードを入力する。

② 証明書の発行

認証コード1、2を入力後、発行ボタンをクリックする。証明書ツールがデジタル証明書を取得し、利用者様のパソコンにインストールする。



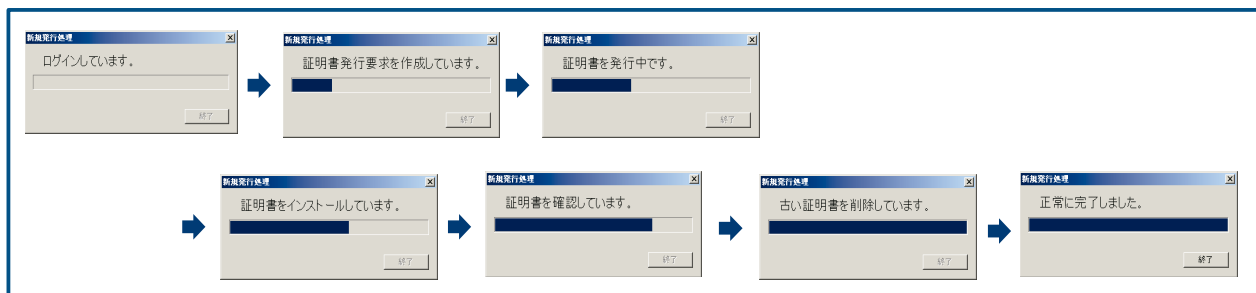
VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

EDI	航空 海上	第18回 WG	基本 I-2	デジタル証明書の運用の簡素化（3）
-----	----------	------------	-----------	-------------------

詳細仕様検討結果

デジタル証明書発行中の画面の流れを以下に示す。以下の画面についても現時点での想定であり、今後の設計工程において、変更があり得る。

【新規発行処理】



3. 第5次NACCSにおいて既にデジタル証明書をお持ちの利用者様について

- 第5次NACCSにおいて既にデジタル証明書をお持ちの利用者様におかれては、有効期限内であれば、引き続き、同じデジタル証明書をご利用いただくことが可能である。
- 既にデジタル証明書をお持ちの利用者様におかれては、現在お持ちのデジタル証明書の有効期限のチェックや更新の際に、証明書ツールをご利用いただくことを想定している。
- 既にデジタル証明書をお持ちの利用者様におかれては、総合運転試験中（予定）には証明書ツールをNACCSセンターが指定するサイトからダウンロードしていただき、利用者様のパソコンにインストールしていただくことを想定している。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

共通	航空 海上	第13回 WG	基本 I-2	第6次NACCSにおけるセキュリティ対策
----	----------	------------	-----------	----------------------

- 第6次NACCSにおいては、現行システムで実施しているセキュリティ対策を踏襲しつつ、統一技術基準（※）に準拠してセキュリティの一層の強化を図る。（※ 政府が定めるセキュリティ基準）

詳細仕様検討結果

項目	現行システム	次期システム
パスワードの最小最大文字数	特に制限していない	6文字以上8文字以下とする。
パスワードに含める文字種	特に制限していない	半角英大文字と半角数字を、それぞれ必ず1文字以上含める。
パスワードの履歴管理	特に世代管理を行っていない	3世代管理し、パスワード変更時において3世代前までのパスワードは使用不可とする。
パスワード変更機能	URY業務を使用する	現行システムと同様とする。
パスワードのキャッシュ不可	特に制御していない	WebNACCSにおいてブラウザのパスワードキャッシュ機能を使用不可とする。
前回ログイン情報の通知	特に通知していない	NACCSパッケージソフト及びWebNACCS使用時において前回ログイン時の情報を表示する。
システム利用に関する規約等の提示	NACCS掲示板にて提示	NACCS掲示板での提示に加え、WebNACCSのログインページから規約等の表示ページに移動できるようにする。
緊急時における特定利用者のシステムの利用制限	NACCSセンターにて制限可能	現行システムと同様とする。

netNACCS及びWebNACCSにおいては、インターネットを使用してNACCSにアクセスするため、上記に示した対策に加え、以下のセキュリティ対策を実施する。

- SSL（Secure Socket Layer）による通信の暗号化（盗聴・改ざん防止）
- クライアントデジタル証明書による端末の特定（正規端末以外からの利用制限）

なお、WebNACCSは携帯端末からも利用可能であるが、携帯端末からの利用においても上記と同様の対策を実施する。



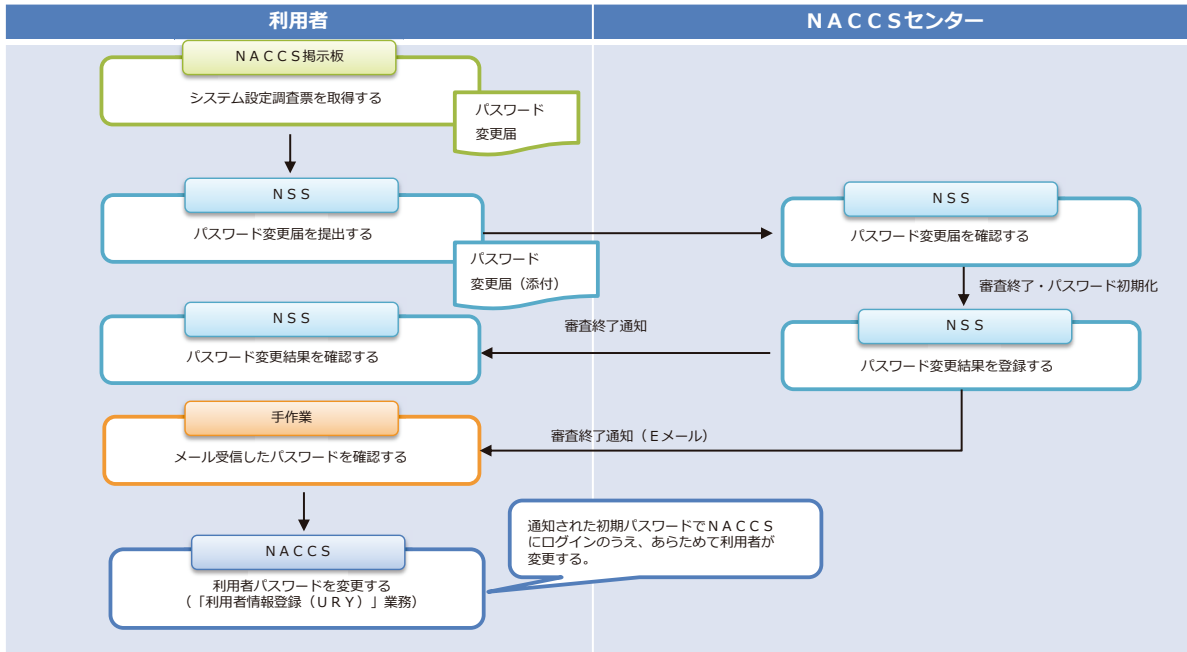
VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

共通	航空 海上	第19回 WG	基本 I-2	第6次NACCSにおけるパスワード初期化の運用改善（1）
----	----------	------------	-----------	------------------------------

- 第6次NACCSにおいては、利用者及びNACCSセンターの双方で煩雑となっているパスワード初期化の運用を改善する。

詳細仕様検討結果

現行NACCSにおいて、パスワードを失念した場合にかかるパスワード初期化手順は以下のとおり。



- NACCSセンターを必ず介してパスワードの初期化を行っており、利用者及びNACCSセンター双方にとって事務が煩雑かつ時間を要している。
- URY業務の実施が可能な時間帯は、平日9時00分～17時00分に限定している。

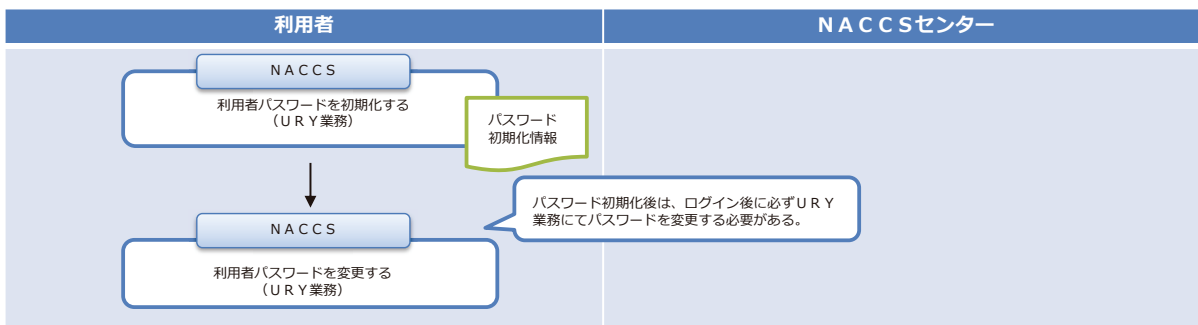


VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

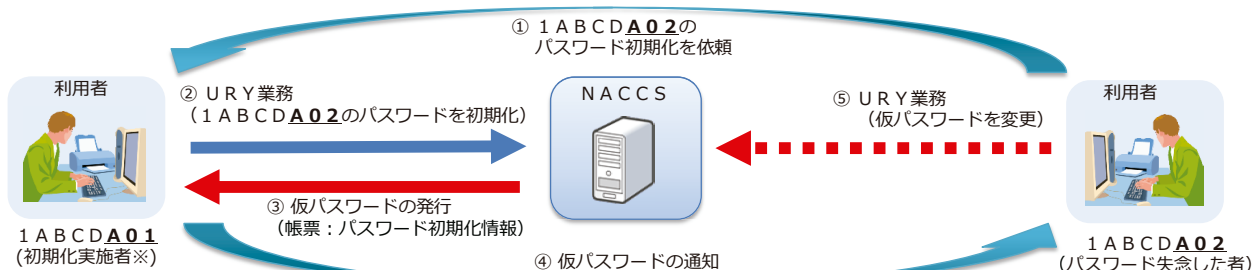
共通	航空 海上	第19回 WG	基本 I-2	第6次NACCSにおけるパスワード初期化の運用改善（2）
----	----------	------------	-----------	------------------------------

詳細仕様検討結果

次期NACCSでは、利用者及びNACCSセンター双方において煩雑となっている当該事務を改善するため、以下のとおりパスワード初期化手順を見直すこととする。



- 初期化のイメージ（1ABCD A02のパスワードを失念した） ※ 利用者コードが同一で、識別符号が異なる利用者IDの者



- 利用者側でパスワードを初期化する機能を追加する（NACCSセンターを介さずに、利用者側でパスワードの初期化が可能となる。）。
- URY業務の実施可能時間帯は現在検討中である。
- 利用者IDを複数持っていない場合は、現行と同様の運用とする。
- 自社システム用の利用者IDのみの契約かつ自社システムでURY業務が行えない場合は、NACCSセンターまでお問合わせ下さい。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

共通	航空海上	第19回WG	基本I-2	第6次NACCSにおけるパスワード初期化の運用改善（3）
----	------	--------	-------	------------------------------

詳細仕様検討結果

次期NACCSにおいて、利用者側でパスワードの初期化を可能とすることから、「利用者情報登録（URY）」業務において、既存のパスワードの変更機能に加え、初期化機能（取消機能を含む）を追加するため、入力項目等を以下のとおり変更する。

（1）入力項目

項番	新規・変更区分	項目名	概要
1	新規	処理区分コード	以下の処理区分コードを入力する。 C：パスワード変更 I：パスワード初期化 X：パスワード初期化取消
2	変更	利用者ID	変更、初期化、初期化取消を行う利用者IDを入力する。 (1) 処理区分コード「C」の場合は、入力者のIDを入力する。 (2) 処理区分コード「I」及び「X」の場合は、入力者と同一の利用者コードで、識別番号が異なる利用者IDを入力する。
3	変更	利用者パスワード	パスワードの変更を行う場合、変更後のパスワードを入力する。 ① 6桁から8桁の範囲の文字列 ② 半角英大文字（AからZ）及び半角数字（0から9）で、それぞれ必ず1文字以上含める。 なお、処理区分コード「I」及び「X」の場合は、入力不可。
4	新規	利用者パスワード（確認）	確認用のパスワードを入力する。 (1) 利用者パスワードと同一であること (2) 処理区分コード「I」及び「X」の場合は、入力不可

（2）出力情報

項番	新規・変更区分	情報名	概要
1	新規	利用者パスワード初期化情報	パスワード初期化の場合、入力者に帳票を出力する。
2	変更	利用者情報登録完了情報（Web）	パスワード初期化、初期化取消、変更した場合、入力者に対し出力する。



VI 主な詳細仕様検討結果（EDI・システム全般）

共通	航空海上	第19回WG	基本I-2	第6次NACCSにおけるパスワード初期化の運用改善（4）
----	------	--------	-------	------------------------------

詳細仕様検討結果

（参考1）URY入力画面

（参考2）利用者パスワード初期化情報

